



## 「天誅組の乱」150周年 記念シンポジウム

天誅組の乱には、河内長野市域出身の人物も多く関わっており、本年が天誅組の活動から150周年の節目にあたることから、シンポジウムの開催を企画しました。本事業によって、市民の幕末史に関する理解を深め、もって郷土に対する誇りと愛着を育むことを目的として実施します。

開催日時：平成25年9月29日（日）13時00分（受付開始12時30分）－16時30分

開催場所：観心寺

内 容	12:30	受付開始
	13:00－13:10	開会挨拶
	13:10－14:10	近世史研究家 舟久保 藍 氏
	14:10－14:20	〈休憩〉
	14:20－15:00	郷土研究会会長 椋本 進 氏
	15:00－15:40	河内長野市長 芝田 啓治 氏
	15:40－15:50	〈休憩〉
	15:50－16:30	シンポジウム

募 集：平成25年9月24日現在、定員50人を大幅に上回り90人前後の申込があり、募集は終了しております。

実施主管：河内長野市郷土研究会

担 当：河内長野市教育委員会生涯学習部ふるさと文化課

※天誅組の乱とは、江戸末期に公家の中山忠光を擁して、土佐藩の吉村寅太郎らを総裁として行われた尊王倒幕を目的とする事件である。吉村寅太郎らは、文久3年（1863）8月14日に孝明天皇の大和行幸の警護を名目に京を出発し、淀川を下り、堺を経て、8月16日に向田村（現、富田林市）の水郡善之祐宅へはいり、三日市宿（現河内長野市）、観心寺を經由して、大和へ向かった。その後、8月17日に幕府天領の大和国五条代官所を襲撃した。しかし、朝廷の政変により政情は一変し、追討の諸藩兵に敗れて壊滅した。

問い合わせ 河内長野市教育委員会ふるさと文化課（☎0721-53-1111）